

令和5年度 英語学習実施状況について

金沢市立明成小学校

①小学6年生 英語学習についてのアンケート(令和6年1月実施)

(%)

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	23.0	37.0	37.0	3.0	0.0
問2	英語の勉強は大切だ。	86.0	14.0	0.0	0.0	0.0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	43.0	34.0	14.0	9.0	0.0
問4	英語の授業の内容が分かる。	43.0	43.0	11.0	3.0	0.0
問5	先生や友達に英語で質問することができる。	26.0	49.0	20.0	6.0	0.0
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	34.0	40.0	20.0	6.0	0.0
問7	アルファベットの大文字が書ける。	77.0	23.0	0.0	0.0	0.0
問8	アルファベットの小文字が書ける。	74.0	23.0	3.0	0.0	0.0
問9	教科書やピクチャーディクショナリーの単語や英文を書き写すことができる。	69.0	26.0	3.0	3.0	0.0
問10	教科書の単語や英文を読むことができる。	43.0	46.0	11.0	0.0	0.0

②指導改善の具体策

- ・毎時間のターゲットの確認やふり帰りの時間が取れていないことが現状であるため、来年度は重点的に取り組みたい。また、言語活動の充実と自信を持つことにつなげるため、「聞く」活動を重視し、モデルをゆっくりと見せることを意識していきたい。

③学校関係者評価

- ・前年度と比べると、英語の授業の内容がわかることに肯定的な児童が減っている。また、英語の授業で困っていることがあるという質問に対しても回答数が減っている。つまり、自信がない子が増えたか、自分が何がわからないかわかっていない児童が増えたと考えられる。
- ・英語を書くことにおいては、肯定的な意見が多く、今までの学習の積み重ねの成果が表れている。また、タイピングの学習がアルファベットの理解に繋がっていると考えられる。
- ・話す、聞く、読む活動の否定的な意見が書く活動より多い。そのため、ゴールを全員で共有し、言語活動の場を増やす必要があると考えられる。振り返りの充実を図り、ゴールに到達することができたかを毎時間確かめることで、目的意識を持たせて取り組ませる必要がある。まずは、教員同士の会話をゆっくりと話し、聞かせることを重要視したい。